

離乳後のデュロックの子豚たち。糞と接触しないようにプラスチックで被覆されたウーブンワイヤ床で飼育されるが、ブタの生来の性質である土を掘り返して何かを探し当て、かじる行動ができず、時には仲間の腹下にもぐり、尾をかじる問題行動を発現することがある＝2017年9月15日、東京大学大学院の附属牧場（茨城県笠間市）



稲刈りが終わり、稲わらが出てきたので豚舎に敷いてやった。わらをかじりながら気持ちよさそう＝10月28日、八ヶ岳中央農業実践大学校



ランドレース品種の繁殖用雌豚。太らせすぎると繁殖しなくなるので、常時給餌が制限されている。人が豚舎に入ると立ち上がって餌を待つ＝2017年9月15日、東京大学大学院の附属牧場（茨城県笠間市）

▲
中ヨークシャー品種。しゃくれ顔が特徴。大ヨークシャーと今は絶滅した小ヨークシャーの交雑から固定された品種。この品種は世界的にも減少傾向にある＝2015年11月7日、東京大学大学院の附属牧場（茨城県笠間市）

八ヶ岳山麓 ブタ編
動物ふれあい日記

4 日本の肉豚の大半は三元豚



日本の畜産では3種掛け合わせの「三元豚」が主流。産地の名前を冠した「〇〇三元豚」というブランド豚が各地で生産されている
＝9月25日、八ヶ岳中央農業実践大学校

3種類の品種掛け合わせたミックス

（八ヶ岳中央農業実践大学校畜産部長、佐藤衆介）
＝ 随時掲載

大学の肉豚もLWDという三元豚です。ランドレース（L）の母と大ヨークシャー（W）の父を持つブタを母に、デュロック（D）を父にもつブタの子を約6カ月間育て、体重110～120キになったらお肉にします。ランドレースはオランダ原産で結婚が早いブタです。鼻が長くて、耳が垂れ下がっているのが特徴の白豚です。大ヨークシャーは名前の通りイギリス原産で、子供の数が多くブタです。顔がややしゃくれて、耳が立った白豚です。デュロックは西アフリカが原産ですが、米国に輸入されても長年名前が無かったそうです。デュロックという優秀なサラブレッドの雄馬を飼育していたハリ・ケルシーさんが飼育していたブタということ、この名前になりました。肉に脂肪が入る霜降り肉になるので、味が良い赤褐色のブタです。白豚は子を産む能力が高く、デュロックを始め色のついたブタは肉の味が良いので、肉豚としてこれらのミックス（雑種）が好まれています。

佐藤衆介（さとう・しゅうすけ）

1978年に東北大学大学院農学研究科博士課程修了。80年から宮崎大学助手、88年から同大助教授を務める。94年に東北大学助教授に着任。2002年からは農業・生物系特定産業技術研究機構畜産草地研究所放牧管理部長。05年から東北大学大学院教授を務める。同大名誉教授。15年からは帝京科学大学教授。19年に八ヶ岳中央農業実践大学校（原村）の畜産部長となり、現在に至る。主な著書は「アニマルウェルフェア」（東京大学出版会、2005）など。

